

★なぜ「神の像を刻」んだり「神の名を唱え」たりしてはならないのだろうか？

神の像は、神ではないから（土や石や木を加工したものであり神そのものではない）。

神の名を唱えることは、神と人間との区別を曖昧にし、神の唯一絶対性を損ねるから。

★現代社会においても「律法主義」と言えるような現象はあるだろうか？

1990年に起きた兵庫県立神戸高塚高校の校門圧死事件（遅刻を減らすために8:30のチャイムを合図に生徒指導部の教員が校門の鉄扉を閉めた際に、駆け込んできた1年女子生徒が鉄扉に頭をはさまれて即死した）。遅刻をしないように努力することは必要だが、危険を冒してまで厳格かつ形式的に厳守しなければならないほど重要なルールではない。

※このように、本来もっとしっかり守るべき重要なルールがあることを忘れ、目先の軽微なルールを形式的に厳守させようとする態度は、現代版「律法主義」と言ってよいだろう。例えば、人権侵害の危険を冒してまで新たな刑罰法規を新設しようとする政治家や、ささいな法律違反にさえ神経質に反応して厳格に処罰しようとする警察官・検察官の態度も、現代版「律法主義」と考えることができるだろう。